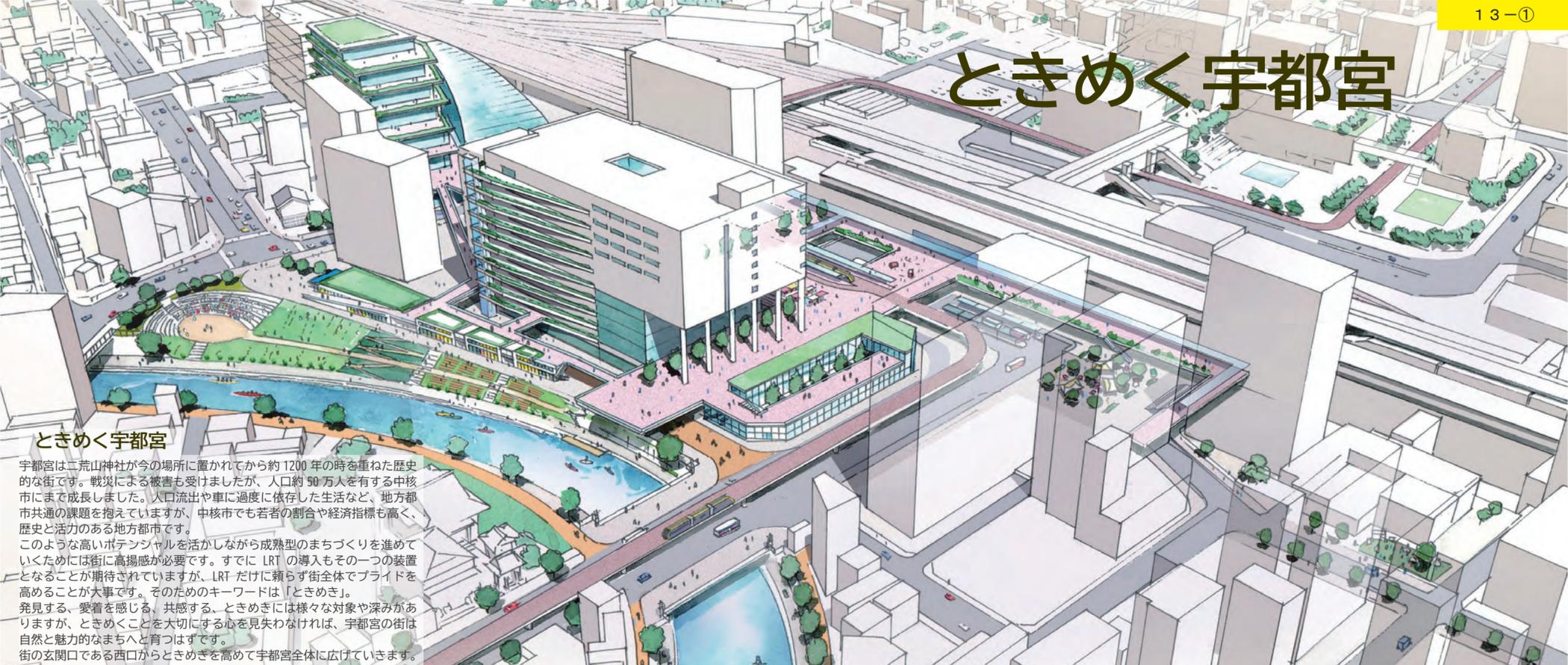


ときめく宇都宮



ときめく宇都宮

宇都宮は二荒山神社が今の場所に置かれてから約1200年の時を重ねた歴史のある街です。戦災による被害を受けましたが、人口約90万人を有する中核市にまで成長しました。人口流出や車に過度に依存した生活など、地方都市共通の課題を抱えています。中核市でも若者の割合や経済指標も高く、歴史と活力のある地方都市です。

このような高いポテンシャルを活かしながら成熟型のまちづくりを進めていくためには街に高揚感が必要です。すでにLRTの導入もその一つの装置となることを期待されていますが、LRTだけに頼らず街全体でプライドを高めることが大事です。そのためのキーワードは「ときめき」。

発見する、愛着を感じる、共感する、ときめきには様々な対象や深みがありますが、ときめくことを大切にすることを失わなければ、宇都宮の街は自然と魅力的なまちへと育つはずです。

街の玄関口である西口からときめきを高めて宇都宮全体に広がっていきます。

西口でつくるときめき

- モビリティにより都市機能を更新する**
- ・センターコアと西口とのつながりを広げる
 - ・西口の交通結節機能を強化、再編する

- 街を大きく開いて丁寧につくる**
- ・三方の「抜け」により田川と駅前を一体化する
 - ・街中に眠るときめき要素を磨く



駅前いろいろなモビリティが出てきて歩きやすくなったしちょっとした移動も楽になった！車いねな



駅前なのに、田川やそこらじゅうに居心地のいいところがたくさんできた！西口おしゃべり



集まりやすいし、いろいろなイベントもあるから、つい行くけど、そこからまた輪が広がるんだよね！駅前、沼だな



最近人は来るだけじゃなくて、暮らし始める人も増えてびっくり！確かに居心地よくな

→関係者の共感を育みながらときめきを持続させる

宇都宮市街地の読み解き

広域にみる位置づけ

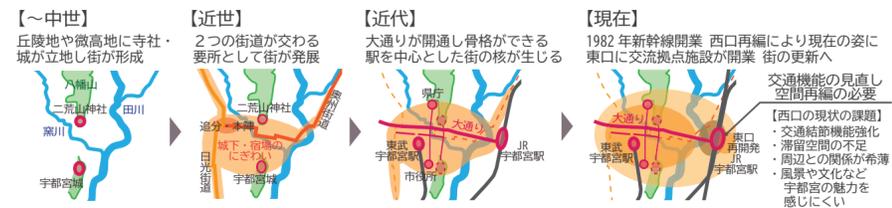
関東平野と東北平野の中継地
江戸時代に江戸との関係が強まる北関東の中核市として発展してきた

東京から100km圏というアクセスのよさから企業や工業立地が進み経済圏を形成する一方、少子高齢化や車社会からの転換など地方都市共通の課題を抱える

宇都宮市街地は都市機能が集積する拠点であり、住民・来訪者が集い独自の都市文化を発展させた

提案のポイント
・交通結節機能を活かしながら独自の魅力を発信する都市へ

宇都宮市街地の変遷



JR 宇都宮駅西口の提案のポイント

- 市街地の二つの核の関係からポイントを導く。
- 【センターコア】
 - ・約1200年の歴史・大通りを軸とした明快な道路網
 - ・庁舎や寺社など都市の中核機能が立地
 - ・ジャズやカクテルなど都市文化の醸成、発信地
 - 【JRコア】
 - ・田川の影響を受けた特徴的な街区形成
 - ・駅/センターコアからの人の流れを受け止める
 - ・東口の再開発やLRT開通 まちの更新時期



モビリティにより都市機能を更新する

センターコアと西口とのつながりを広げる



- 【高架案で立体的に処理されたLRTにときめく】
・乗継の効率化、交通空間のコンパクト化等を助成
- 【バスと車のアクセスルートの完全分離でときめく】
・バスは宮の橋から大通り経由でアクセス
・バスターミナルを大通り北側に移設して乗継改善
・車とタクシーは幸橋、奥州街道からアクセス
・車とタクシーは低未利用地に確保

- 【デッキネットワークの広がりにときめく】
・西口駅前から南北方向、東口を含む東西方向を結ぶ
・デッキ上には低速モビリティを導入して歩行移動を補完

- 【駅前広場から低未利用地に向かう抜けにときめく】
・駅前広場から南北方向、東口を含む東西方向を結ぶ
・デッキ上には低速モビリティを導入して歩行移動を補完

- 【宮の橋手前に集約設置された駐輪場にときめく】
・駅前に駐輪場を集約化し、憩いの場も兼ねた象徴的空間に
・宮の橋から南北に広がる自転車ルートの起点に

西口の交通結節機能を強化、再編する



- 【田川沿いの公園空間となる抜けにときめく】
・駅利用者にも自然の感じられる滞在環境を提供
・県道も公園化して整備
・旧篠原家、幸橋との連続性も確保

- 【駅前広場から低未利用地に向かう抜けにときめく】
・低未利用地に向かう抜けを確保して駅前の開放感を確保
・抜けとあわせてデッキプロムナードを整備
・LRT駅と一体的なオープンスペースを整備

- 【抜けに囲まれたスクエア空間でときめく】
・駅前、田川、大通り、各々の表情を開放感により一体化

街を大きく開いて丁寧につくる

三方の「抜け」により田川と駅前を一体化する(ときめきスクエア)



- 【駅前と田川のつながりでときめく】ときめきスクエア
・駅前広場と田川の間で複数の通り抜け整備
・通り抜けと合わせて交流の場づくりをしなげる

- 【駅前と田川のつながりでときめく】ときめきスクエア
・駅前広場と田川の間で複数の通り抜け整備
・通り抜けと合わせて交流の場づくりをしなげる

- 【駅前と田川のつながりでときめく】ときめきスクエア
・駅前広場と田川の間で複数の通り抜け整備
・通り抜けと合わせて交流の場づくりをしなげる

街中に眠るときめき要素を磨く



- 【駅前と田川のつながりでときめく】ときめきスクエア
・駅前広場と田川の間で複数の通り抜け整備
・通り抜けと合わせて交流の場づくりをしなげる

- 【駅前と田川のつながりでときめく】ときめきスクエア
・駅前広場と田川の間で複数の通り抜け整備
・通り抜けと合わせて交流の場づくりをしなげる

- 【駅前と田川のつながりでときめく】ときめきスクエア
・駅前広場と田川の間で複数の通り抜け整備
・通り抜けと合わせて交流の場づくりをしなげる

ときめきを育てていく仕組み

ときめきの循環システムを構築



まちを描く

<基本方針>
・まちの状態を常に見守る
・多様な主体を交えて将来像を描く

まちの現状の検証
まちの課題や改善策の洗い出し
活動結果の検証
活動結果に基づき効果を検証
将来像の検討
まちの進む方向性を定める

宇都宮の人々を巻き込みながら、まちのあるべき姿を練り上げていく

まちを変える

<基本方針>
・まちの余白をパブリックなスペースにする
・委員会が運営機能を備えることで活用を促す

土地を市が借用し、委員会が運営
個人所有の土地を集約し、市民にサービスを提供

借地契約 借地料 納税
敷地管理者 宇都宮市 サービス
敷地運営者 宇都宮ときめき推進委員会 利用料
個人・団体 利用申請

建物の一部を市が借用し、委員会が運営
床の公的利用により企業側にもメリットを生む

建物所有者 企業等 テナントを利用
管理者 宇都宮市 賃料 賃料 納税
敷地運営者 宇都宮ときめき推進委員会 サービス
個人・団体 利用料
敷地運営者 宇都宮ときめき推進委員会 利用申請

まちを使う

<基本方針>
・整備前からまちを使って愛着を育む
・まちの使われ方に応じて新しい使い方を提案

将来を見据えてまちを使う
再整備が完了する前から市民に対してまちを開くことで再整備の効果をもたせ、宇都宮の未来に對するときめきを生み出す
例1 LRTのデッキを開放し例2 工事現場を狭く歩行者動線にする
ビュースポットを設置

使い方を考えていく
再整備が完了した後は市民生活の変化に合わせて、ハードの使い方を柔軟に変えていくことで、より使いやすい都市に変化する。
例1 使われない駐車場を例2 使われないバス停をBBQ場や屋台街に無料休憩所に

スケジュールイメージ

